

第205号

令和8年
2月20日発行
春彼岸号

西光



靈閑だより

浄土の楽しみ

日々のあれこれ

正座の友 おまえもか…

動物たちの弔問 今年は西山上人の年！

歩く、歩く、歩く…

No 仏教, No Life 門前掲示板 一言法話

12月 またかえってきはる

1月 じひするうちは…

2月 悠々として逃げ

はなまつりのご案内

春彼岸会のご案内



浄土宗西山禅林寺派
雲龍山 西光寺 住職 大塚靈閑

〒671-0101 姫路市大塩町229番地

079-254-0351(Tel)

079-254-4142(Fax)

otsuka@saikouji-himeji.com

<https://saikouji-himeji.com/>



HP



LINE



Instagram

靈閑だより



浄土の楽しみ

人知れず拝む方がいる

「大塚先生の正式な戒名を教えてください」と、ある日お電話を頂きました。相手は全く存じ上げない方でした。お聞きすると、かつて先代が宗門の短大で教えていた頃の教え子の方でした。自分なりに手を合わせてはいたものの、やはり正式な戒名をあげてお参りしたいとのことで、連絡をくださったようでした。先代が亡くなってもう9年を迎えようとしています、人知れず拝んでくださっていた方がおられたことに、なんとも有難い気持ちになりました。

お浄土からのエール

また先日、とある勉強会の講師をある方に依頼した時のこと。その方は、かつては大学でも教鞭をとっておられ精力的に活動なさっていたらっしゃいましたが、最近しほは自坊の法務が忙しくなったこともあり一線から退いておられました。そこへ私が若い衆に是非ご指導を賜りたい旨、お願いすると「お浄土の大塚先生が「やり続ける」といわれていることかと受け取り、期待に応えられるか心許ないが、何とか頑張ってみよう」とお返事を頂きました。

先に生まれて後を導かん

先に生まれて後を導かん。いんじょうえん引撰縁はこれ浄土の楽しみなり(法然上人)

法然上人は75歳の時、弟子の起こした事件の責任をとらされ四国に流罪となります。法然を慕う閑白くしょうかねざねの九条兼実かねみは、上人の歳を考えると、今生の別れとなるかもしれないと、法然を招き最後の語らいをします。助けることができなかったことを悔やむ九条兼実に対して、上人は上の言葉をかけられます。引撰縁というのは引き、おさめる、縁。つまりお浄土に引っ張って

おさめて頂くご縁。先にお浄土に生まれて、後に残された縁ある者を導くということが楽しみなのだ。

死んだら終わりではない

人は死してなお私たちに働きかけてくれる。関わりを持ち続けてくれているのです。「死んだら終わり」ではないのです。死んだら終わりでいいわけはありません。遺された者はそう思わないでしょう。行き先は「いいところ」であってほしいはずです。お釈迦さまが説かれた、死して生まれる場所＝極楽浄土とは亡くなった方のためにあるのではなく、今生きている私たちのためにあるのではないかと思うのです。愛別あいべつ離苦、愛する大事な方と別れ、離れなければならない時が必ずやってきます。多くの辛い別れを経験しなければならない私たちには、

私たちが安心して大切な人を送れる場所
死してなおつながりを感じられる場所
「またな」と言って、再会を約束できる場所

そういう場所が必ず必要なのだと仏さまが用意してくださったのが西方極楽浄土という場所なのです。

お釈迦さまの真意は・・・

法然上人が浄土宗を開くきっかけになった言葉があります。

かみ上より来、このかたじょうさんりょうもん定散両門の益を説くといへども、ほんがん佛の本願に望むるに、ごころしゆじょう意、衆生をして一向にもつぱらみだがつ弥陀仏のみ名を称せしむるにありぜんどうだいし(善導大師『観経疏』)

お釈迦さまはたくさんの教えを説かれてきたけれども、阿弥陀仏の本願に思いを致せば、その真意は、私たちに阿弥陀仏の名を称えさせることにあるのだということです。つまり私たちが南無阿弥陀仏と掌を合わせることです。

日々のあれこれ



正座の友

これは何という名前なのでしょう…名前は知らない。しびれ対策グッズ。正座をする際に、お尻の下に置いて足への負担を軽減する。ご自宅での法事の際など入用でしたら、ご遠慮なくお知らせください。いくつでも貸出いたします。お寺も椅子席にしましたので、これが物置の中にたくさん眠っております。クッション性があり、お尻も痛くありません。



おまえもか…

鬼の形相もムクドリは屁とも思っていません。境内、本堂の縁、墓地、もうあちこちに彼らの食した後の木の実やフンが散乱しております。かつての益鳥も今や害鳥に。田畑を荒らすアライグマやイノシシもしかり。人間の都合に振り回されているのは実は彼らの方かもしれない、いや彼らは別に人間の評価を気にしているわけないか…



動物たちの弔問

2月15日はお釈迦さまが亡くなられた(涅槃)日。先般のお十夜のお説教が涅槃図の絵解きだったこともあり、少し

早く本堂に出しておりました。涅槃図は情報量が凄まじく、ネタの宝庫です。ネコがいないことは有名な話。西光寺の涅槃図にはネコいます。その他多くの動物たちがお釈迦さまに手向けようと、口に葉っぱや花をくわえて集まってきているのが、なんともけなげでかわいい。



今年は西山上人の年！

しゅうそ 宗祖は宗派を開いた人。浄土宗だと法然上人。派祖はさらに枝分かれして、〇〇派を開いた人。私たちは浄土西山ぜんりんじは 禅林寺派。派祖はしょうくう 證空上人。

證空上人は法然上人没後、住まいを京都の八坂神社付近の東山から洛西西山の三鈷寺に移されたことで、西山の上人、西山上人と呼ばれるようになった。ちなみに私たちはお西さんではありません。お西というのは浄土真宗本願寺派(西本願寺)のこと。ややこしいですが、お間違えなく。今年はその西山上人の生誕850年の年。

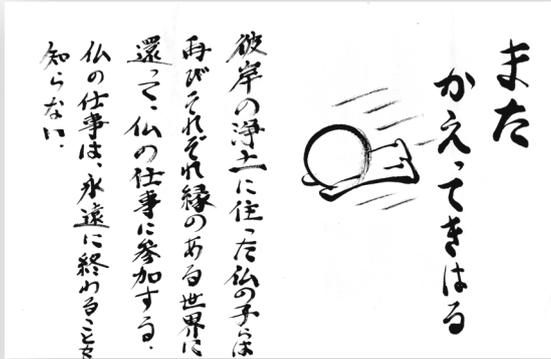
歩く、歩く、歩く…



今年も法然上人を偲びご命日(1月25日)の前夜に、京の街を歩く念仏行脚に行つてまいりました。この茅葺の立派な山門は念仏行脚の出発地の京都太秦の西光寺。この度は全国青年会会長として、途中立ち寄りお寺でのお勤めの導師をする任務がある。長岡京の光明寺までの10数キロの道のりを、念仏を唱えながら5時間ほど歩く。この道程は法然上人の遺骸を暴こうとする反対勢力から、師匠を守るべく弟子たちが決死の覚悟で夜中に師匠の遺骸を運び出したルート。最強寒波に見舞われるも吹雪にはならず。歩き通した達成感を味わうのもそこそこに、そこからまた家まで車で帰路へ。まさに家に帰るまでが遠足、いや行脚でした。

門前掲示板 一言法話

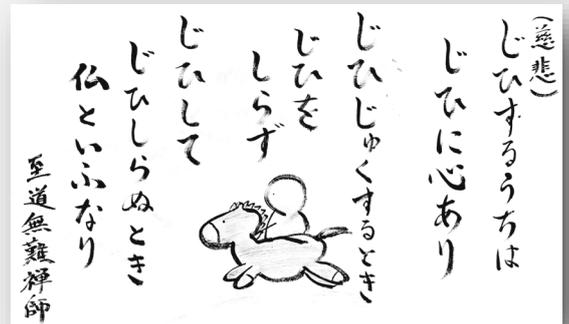
12月



“死んだら終わり”ではないのです。まだまだやることがあるのです。極楽という仏の国に往って、菩薩として生まれ、仏の仕事に参加するのです。菩薩とは仏の道を歩む者のことです。葬儀は故人をこの菩薩の道に入らしめる儀式です。菩薩の道に進まれたあの人は、仏となってまたかえってきはるのです。仏の仕事はこの世で悩み、苦しむ私たちを見守り、拝み、導き、陰ながら支えることです。その仕事は終わることがありません。拝んでいる私たちが実はそれ以上に拝まれていたのです。もう掌を合わさずにはおれません。

慈悲とは仏が人々の苦しみを取り除き、幸福を与えることをいいます。今では「慈悲深い」という言葉にあるように、温かい心遣い、思いやりをもって相手に接することをいいます。「私は“慈悲”＝エエことをしている」という自負が働いているうちは「おぬし、まだまだよのう」なのであります。見返りや下心はもってのほか。もはや意識の内から、“慈悲”の心が消え去ったときに、「おぬし、仏に近づいたのう」となるのであります。心がけさえも危うい私たち。まずは心がける、そして行動にうつす、さらには無意識の行動となる。修行の日々です。

1月

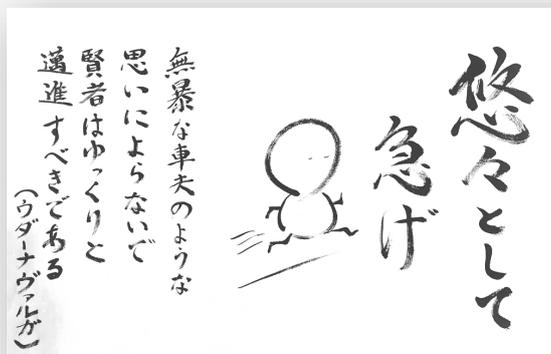


悠々として急げ。元はラテン語のFestina Lente (ゆっくりと急げ)。作家の開高健が好んだ言葉です。

安全運転が自分のためになるのだと分かっているならば、安全運転をすべきなのです。「急がばまわれ」です。分かっているのにできないのが人間の愚かなところ。最近の車はシートベルトをしないと発進させてくれません。蛇行運転をしていれば、警告音が鳴り、ハンドルが勝手に動き正しい位置に押し戻されます。もはや機械に操られ出したら、「いけない、私は為すべきことをしていない」と反省せねばなりません。

私たちの命は火が灯されたロウソクのようなものです。与えられた時間は刻一刻と減っていきます。しかし「悠々として急ぐ」のです。心に余裕を持ち、着実に、思慮深く。

2月



自分の益になるものであると知り得ることを
 あらかじめ為すべきである
 無暴な車夫のような思いによらないで
 賢者はゆっくりと邁進すべきである
 (ブッダ『ウダーナヴァルガ』)

おしらせ



おしゃかさまの誕生日

ハッピー
パースデー♪

花まつり

5月8日(金)

参道に終日、花御堂をお祀りしています。甘茶をひしゃくですくって、お釈迦様にかけてお参りください。甘茶もどうぞご賞味ください。



西光寺の涅槃図より
お釈迦さまの誕生

編集後記



ここ1~2年で葬儀の件数が大変多くなってまいりました。日々のお逮夜参りをはじめ法事などにつきましても、時間の変更などご無理を申し上げることが増えてくるかと存じますが、事情ご賢察の上、ご理解賜りますよう、お願い申し上げます。

さて、春のお彼岸法要には、ご本山永観堂の前ご法主、綱干大覚寺の中西玄禮猊下に4年ぶりにお出で頂きます。思い返せば15年前に中西御前がご本山に上がった年に加行を受け、僧侶としての歩みをはじめました。それ以来お説教の大家である中西御前のもとで多くを学ばせて頂きました。どうぞ皆様お誘い合わせてお参りください。

ご逝去の報

東ノ丁	大島かつ江さん	78歳	11月4日寂	西ノ丁	梶原淑子さん	89歳	1月1日寂
西 浜	濱崎博信さん	48歳	11月5日寂	北 脇	吉野耕恵さん	86歳	1月8日寂
西ノ丁	山元貴美子さん	91歳	11月12日寂	飾 磨	横山博史さん	62歳	1月8日寂
東ノ丁	石原敏子さん	92歳	11月13日寂	曾 根	水王央子さん	94歳	1月11日寂
西ノ丁	桐本正彦さん	83歳	11月13日寂	宮本丁	濱本富士乃さん	95歳	1月18日寂
中ノ丁	高木利政さん	83歳	11月17日寂	梅 井	金田美恵子さん	88歳	1月21日寂
米 田	梶原節子さん	66歳	11月18日寂	荒 井	富永清美さん	86歳	1月27日寂
東ノ丁	三浦二郎さん	96歳	11月20日寂	西ノ丁	白矢勇さん	98歳	1月30日寂
東ノ丁	井川進善さん	86歳	11月23日寂	今 市	梶原孝夫さん	87歳	1月31日寂
姫 路	梶原三郎さん	80歳	11月29日寂	的 形	三浦隆さん	73歳	2月1日寂
宮本丁	三浦八郎さん	81歳	12月12日寂	東ノ丁	麦倉順一さん	94歳	2月11日寂
曾 根	横山繁さん	84歳	12月31日寂	芦 屋	長田伸一郎さん	80歳	2月18日寂



春彼岸会

3月22日(日)

午後1時〜 おつとめ
午後2時〜 お説教

お説教の前後に塔婆回向(ご先祖の供養)をいたします。

ご希望の方は当日世話人席にてお申込み下さい。事前に住職にお渡し頂いても結構です。戒名(〇〇家先祖代々、俗名でも構いません)と施主名(お申込みの方のお名前)をメモしてお持ちください。一霊三〇〇円です。

説教師

永観堂禅林寺第九十世法主

大覚寺 中西 玄禮 猥下

